

< 続・建設省は何を考えているか >

先月号のY評点のグラフで、有利子負債月商倍率(X8)、純支払利息比率(X9)の他にウェイトが大きいのは、売上高営業利益率(X1)です。建設省は営業利益を重視していることが分かります。特に、支払利息と営業利益との関係を気にしているようです。営業利益の方が支払利息よりも小さい会社は、営業利益で支払利息をまかなえない会社ですから、経営的には厳しい会社と言えます。営業利益で支払利息をまかなえないのだから、長期的には、借金の返済がむずかしい。こんな会社は早晩ダメになるというわけです。だから、営業利益をなんとかしてでも増やせということです。営業利益率の高い会社は、優良企業だからいい点数をあげようということになっています。

「経審」を受ける側からするとなんとも酷な話です。この不景気なご時世に営業利益を増やすのは並大抵の努力では無理だよと嘆きたくになります。最後の手段は、役員報酬を削っても営業利益を出せなどと言われるとどこかの銀行と同じで血も涙もない奴だと思いたくなります。

しかし、ここでくじけてはいけません。確かに、売上高営業利益率(X1)はウェイトが高いのですが、右図のように分類すると損益計算書に関する指標のウェイトはそれほど高くはありません。純支払利息比率(X9)は主に有利子負債に関する数値ですから貸借対照表に関する指標に含めてもよいと思われます。ですから、Y評点の12指標は、貸借対照表に重点を置いているのです。企業の成長性や将来性はあまり考えずに、企業の安定性が重要だと考えています。建設省が貸借対照表に重点を置いているのに「経審」を受ける企業の方で利益を出すことばかりに腐心していても仕方ありません。まずは、貸借対照表を見直しから、その上で利益について考えてみましょう。

WISENET編集部 松村 清 (税理士)

貸借対照表だけに関係する指標 (貸借対照表が中心のものを含む)

7分析指標 / 12分析指標	51.0%
必要運転資金月商倍率(X4)	2.5%
立替工事高比率(X5)	8.9%
受取勘定月商倍率(X6)	2.6%
自己資本比率(X7)	8.3%
有利子負債月商倍率(X8)	16.2%
自己資本対固定資産比率(X10)	3.5%
長期固定適合比率(X11)	9.0%

Y評点は
貸借対照表重視

貸借対照表と損益計算書の両方に関係する指標

2分析指標 / 12分析指標	13.8%
総資本経常利益率(X2)	8.5%
付加価値対固定資産比率(X12)	5.3%

損益計算書だけに関係する指標

3分析指標 / 12分析指標	35.2%
売上高営業利益率(X1)	16.1%
キャッシュ・フロー対売上高比率(X3)	8.4%
純支払利息比率(X9)	10.7%

利益ばかり追っても
仕方がない

* 数値はY評点への影響度 (Y評点に占める割合) を表しています。

* 参考 12指標のY評点への寄与度

売上高営業利益率 (14.2%)	自己資本比率 (8.9%)
総資本経常利益率 (8.1%)	有利子負債月商倍率 (17.0%)
キャッシュ・フロー対売上高比率 (7.1%)	純支払利息比率 (11.3%)
必要運転資金月商倍率 (2.6%)	自己資本対固定資産比率 (3.5%)
立替工事高比率 (10.2%)	長期固定適合比率 (9.1%)
受取勘定月商倍率 (2.8%)	付加価値対固定資産比率 (5.2%)

寄与度は実際の経審データから、Y評点に実際与えている割合の平均を算出したものです。

「Wisdom2000 経審アップシミュレーションシステム」で経営状況分析診断書を自動作成。自社のデータ分析資料、会計・行政書士事務所での建設会社提出資料が誰にもすぐに作成できます。

デモンストレーション希望 (無償)

資料請求 (無償)

* すでにご注文をいただいたお客様にもこのFAXは届いております。

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所 (商品送付先) 〒	
TEL	FAX
e-mail	決算月 月

「WISE FAXNET」では「Wisdom」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求は弊社までご連絡下さい (バックナンバーの請求は「Wisdom99/2000」をお持ちのユーザー様に限らせていただきます)。